

座長 慶應義塾大学名誉教授 田中 滋 氏

演者 横浜市医療局長 増住 敏彦 氏

北里大学医学部教授 渋谷 明隆 氏

公益財団法人慈愛会理事長 今村 英仁 氏

横浜市立大学附属市民総合医療センター病院長 後藤 隆久



田中 滋 氏

横浜市立大学は、平成 29 年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の採択事業として、平成 30 年度から「YCU 病院経営マネジメントプログラム」をスタートします。

このキックオフシンポジウムが平成 30 年 2 月 24 日(土)神奈川県立かながわ労働プラザで開催され、109名の病院関係者、医療従事者、行政担当者などが参加しました。

当日は、慶応義塾大学の田中滋名誉教授を座長に、地域医療とこれからの病院のあり方について、シンポジストがそれぞれの立場から報告を行いました。

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム採択事業

# 大学病院と地域の病院・診療所との連携と機能分担

## —都市における医療の課題と将来の方向

### YCU 病院経営マネジメントシンポジウム

#### 北里大学新病院プロジェクトを通じて考えた 大学病院の役割



渋谷 明隆 氏

2014年に開院した北里大学の新病院の設計に当たっては、十年前から近未来の医療需要や供給体制を予想し、患者中心の医療・共に創る医療の理念のもと、高度先進医療推進と地域医療貢献の両立を目指しました。相模原市との連携を取りながら進めています。院内では業務の可視化やDPCデータの活用などの経営戦略を進めています。

北里大学医学部教授

#### 医療局から見た地域医療の課題



横浜市医療局長  
増住 敏彦 氏

高齢化の進展により見込まれる将来の医療需要への対応として、医療機能の分担と連携が一層重要になります。大学病院や地域中核病院等には、高度急性期・急性期の機能を担い、地域で完結する医療連携の中心的な役割を期待します。横浜市としてもICTを活用した地域医療ネットワークの構築など、医療連携の推進に取り組んでいきます。

#### 横浜市大病院経営プログラムが目指すところ



後藤 隆久

大学病院が担う高度急性期医療は都市部でも過当競争に陥りつつあります。大学病院も地域医療の中での役割を十分認識し、これからの医学・医療を支える人材に病院のあり方を教えることが重要です。そのためには我々医療従事者も医療経営・政策を学ばなければなりません。

横浜市立大学附属市民総合医療センター病院長

#### 地域における大学病院と一般病院の連携とすみわけについて



公益財団法人慈愛会理事長  
今村 英仁 氏

慈愛会では、急性期病院である今村総合病院は大学病院との垂直連携と機能分担を行う一方、在宅医療や地域包括ケアシステムを支える多くの医療機関を運営し、水平連携を行っています。まちづくりの視点から医療・介護ネットワークを構築していく考え方を取り入れています。

参加者からは、「医師が医療政策や経営に積極的になることが必要」「実務人材と経営人材のミックスのの違いを理解した」「人材トレーニングの大切さを改めて見直したい」「自施設で今後の展望をどう考えるか学べた」等の意見をいただきました。



### YCU病院経営マネジメントプログラム

平成30年度開始の未来の病院長を育てる履修証明プログラム(120時間)

「医療政策学」「医療経営学」「安全管理学・ガバナンス」ほか、大学院(医学研究科、国際マネジメント研究科)の科目を学びます。「特別研究」では、実際のケースを学び、所属する病院等の課題を解決する実践的な提案までを行うことを目的とします。



Web サイトへ

横浜市立大学 福浦キャンパス学務・教務課  
横浜市金沢区福浦 3-9 TEL: 045-352-7968